

第231回研究科委員会・第337回教員会議 議事要録

日時：令和4年4月13日（水） 13：30～15：00

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

冒頭、執行部の挨拶（学類長、評議員）があり、その後、教授から教員会議への復帰の挨拶があった。続いて、新型コロナウイルス感染状況について学類長から報告があり、特に最近の理工学類学生の事例について紹介があった。

議 題

研究科委員会

[審議事項]

1．研究科長

(1) 福島県ハイテクプラザ客員教員の任用について

回収資料に基づき、2名の客員教員（教授）の継続任用が提案され、いずれも提案通り承認された。

2．教務委員会

(1) 令和4年度9月修了博士論文審査委員について

資料1に基づき、9月修了予定学生の博士論文審査委員3名（主査：教授、副査：教授、准教授）が提案され、提案通り承認された。

3．入学試験委員会

(1) 令和5年度入学試験の日程について

資料2に基づき、大学院入試日程が提案された。日程は例年通りであるが、一部分（4月期入学）については大学院改革との関係で日程がずれる可能性があること、及び来年度（今年度実施分）からI期、期と入試の複数機会化を構想していること、のコメントが研究科長からあった。また、環境研・准教授から、環境放射能学専攻は学外者を主な対象としているため、できるだけ昨年までと同様の日程にしてほしいとの発言があった。以上の審議を経て、本件は提案通り承認された。最後に委員長から今年度実施の大学入試共通テストの日程について追加アナウンスがあった。

[報告事項]

1．教務委員会

(1) 学生の休退学について

博士前期課程の学生については休学1名、退学1名、博士後期課程の学生については休学1名、退学3名が報告された。

2．入学試験委員会

(1) 令和4年度入学者数について

資料3に基づき、博士前期課程は合計57名、博士後期課程は合計5名の入学が報告された。

教員会議

[審議事項]

1．学類長

(1) 客員研究員の任用について

回収資料に基づき、教授から申請された3名の客員研究員の継続任用が提案され、いずれも提案通り承認された。

(2) 研究員(プロジェクト)の任用について

回収資料に基づき、教授から申請されたプロジェクト研究員の新規任用が提案され、提案通り承認された。なお、学類長から、当該人事は時間的な制約がある中で例外的に進めたものであるとの発言があった。

(3) 名誉教授の称号授与について

回収資料に基づき、教授から2名の本学名誉教授推薦について説明があった。1名の教授については在職年数が24年10月1/3、もう1名の教授については在職年数が28年8月と、いずれも在職20年以上という基準をクリアしていること、両教授とも大学運営、研究業績、社会活動のいずれも優れていることが報告された。審議の結果、両教授とも本学名誉教授に推薦することが承認された。

2. 教務委員会

(1) 令和4年度非常勤講師計画について

資料4に基づき、39番「社会計画概論」(担当教員:教授2名)の2時間分の単発非常勤講師として新規任用することが提案され、提案通り承認された。

3. 入学試験委員会

(1) 令和5年度入学試験の日程について

資料2に基づき、編入学、総合型選抜、学校推薦型選抜、私費外国人、一般選抜前期及び後期、の各入試日程が提案され、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 令和4年度各種委員会委員名簿について

柴崎評議員より資料5に基づき説明があった。前回の提案から全学委員1名、学類委員1名を修正し、これを確定版とすることが報告された。

2. 教務委員会

(1) 学生の休退学について

学類生について、休学6名、退学9名が報告された。

(2) 令和4年度からのコース所属について

資料6に基づき、全対象学生の詳細な希望コースが報告された。

(3) 令和4年度研究室配属ガイダンスについて

資料7に基づき、4月12日(火)5時限目の「共生の科学」でガイダンスを実施したことが報告された。なお、配属人数は現時点のものであり、最終的には6月中旬頃に確定するとのアナウンスがあった。

(4) 令和4年度海外演習について

今年度の海外演習は未定であると掲示したことが報告された。

(5) 第63回全学教務協議会について

(報告事項)

・令和4年度授業の実施について:

昨年度と同様のコロナ対応で授業を実施することが報告された。

3．入学試験委員会

(1) 令和4年度入学者数について

資料8に基づき、一般前期が81名、後期が47名、他入試（総合型及び学校推薦型）も含めると合計177名の入学が報告された。なお、今年度は後期入試の辞退率が例年より低かったことも併せて報告された。

4．学生生活委員会

(1) 令和3年度授業料未納による除籍について

資料9に基づき、理工学類生3名が除籍となったことが報告された。

5．自己評価委員会

(1) 教員評価（研究業績管理システムの情報更新）の実施について

資料10に基づき、教育研究業績管理システムへの登録及び自己評価シートの提出が依頼された。学類内の締切を5月13日（金）とするとのアナウンスがあった。

教育研究評議会

第380回（3月22日開催）報告

【審議事項】

(1) 学内諸規則等の制定について【資料8】

資料に基づき、学内諸規則の改正リスト及びそれらの詳細が報告された。特に、個人情報関連の変更点についての説明があった。

(2) 令和5年度の地方国立大学の定員増への対応について【資料9】

人間発達文化、経済経営、及び行政政策の各学類に対し、標記について意見聴取が行われたことが報告された。

(3) 大学院の改革について【資料10】

資料に基づき、食農科学研究科の設置計画書を文科省に提出したことが報告された。教育プログラム検討事項への対応として、引き続き大学院教育プログラム連絡調整会議を開催することになるが、そのメンバーとして理工学専攻からは評議員、環境放射能学専攻からは教授が参加していること、令和4年4月からは会議の取りまとめを理工学類の教授が副学長補佐として担当するとの説明があった。

【報告事項】

(1) 経営協議会学外委員について【資料1】

資料に基づき、新規の学外委員5名に加え、学内委員も5名が新たに加わったことが報告された。

(2) 令和4年度予算配分について【資料2】

資料に基づき、各部局に配分される教育経費及び研究経費については、基本的には前年度と同額程度を確保したとの説明があった。また、予算編成方針についても説明があった。

(3) 令和4年度学長裁量経費（ミッション実現対応経費）等の配分について【資料3】

資料に基づき、理工学類に対して措置されたことが報告された。具体的には、取組名「グローバルな視野で地域課題に取り組む研究推進と理工系人材育成の機能強化」として9,400千円が措置された。

(4) 附属図書館の理念と目標の改訂について【資料4】

資料に基づき、附属図書館の理念が「学術研究」から「教育研究」に改訂することが報告された。

- (5)福島大学と福井大学とのクロスアポイントメント制度に関する変更協定の締結について【資料 5】
資料に基づき、環境研・特任教授について、変更協定の締結が報告された。
- (6)令和 3 年度監事監査実施計画について【資料 6】
資料に基づき、監事監査に関するヒアリング等のスケジュールが報告された。
- (7)学内諸規則等の制定について【資料 7】
資料に基づき、標記の制定が報告された。
- (8)その他
来年度の会議スケジュールについて【資料 1 1】
資料に基づき、令和 4 年度の全学会議スケジュールが報告された。

運営会議

第 1 7 3 回 (4 月 5 日開催) 報告

- (1)大学院の改革について【資料 1】
資料に基づき報告があった。特に学生収容定員に関して、従来は全体として充足率を算出していたが、今後は研究科ごとに算出されるとの説明があった。
- (2)令和 4 年度入学者選抜実施結果について【資料 2】
資料に基づき、入学者選抜実施結果の報告があった。理工学類の入学者は 100%を超過したが、これは後期入試合格者の辞退率が例年に比べて極端に低いことが要因であるとの説明があった。
- (3)令和 3 年度入試広報実績について【資料 3】
資料に基づき令和 3 年度活動実績の説明があった。一例として、模擬授業については理工学類では 20 名の教員が実施したとの説明があった。また、動画コンテンツとして「夢ナビ TALK&ライブ」の配信が効果的であることから、入試広報委員会に対して今年度の参画について検討するよう依頼があった。
- (4)食農学類教育研究スペースの確保について【資料 4】
資料に基づき、情報基盤センター及び食農学類管理棟(旧うつくしまふくしま未来支援センター棟)における食農学類のスペース配置について説明があった。
- (5)その他
電気・ガス・水道使用量について(R4.2 月分)【資料 5】
前年同月比で増加しているとの説明があった。

その他

- (1)入試委員長から、今年度の入試業務について協力の要請があった。
- (2)財務・施設委員長から、現在照会中の 3 件の提出についてリマインドがあった。